

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	15	担当部課名称	経済部産業振興課
事務事業名	中小企業経営安定支援事業		
見直しのタイトル	金融関連補助事業の業務の見直し		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

- ・中小企業経営安定支援事業の中でも金融関連の補助事業については、過去には特定の職員が専任で行っていた時期もあるが、業務の平準化や窓口・電話対応の向上のために担当全員が対応するため、商工業振興担当全員が対応することとした事業であり、従事職員が多い事務事業となっている。
 - ・事業の推進にあたっては、金融に関する知識や経験を要する部分が多くあり、職員の経験に頼っている部分が多分にある。
 - ・マニュアルの作成や知識の共有化等への取り組みは実施されているが、処理件数が多いため、窓口や電話対応、その後の事務処理等の事務の負担が大きくなっている。
- また、融資事務において、信用保証料に対する補助と利子に対する補助が別のシステムで運用されているため非効率な実施となっている。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

現在実施している事務の見直しを実施し、従事時間の短縮を図る。

【具体的内容】

- ・融資事務について、業務のブレイクダウンを実施する。
- ・ブレイクダウンした業務について整理し、省略できるもの、簡易な実施ができるものの精査を行う。
- ・システムの自動化を実施し、事務の簡素化をする。

3 改善により期待できる効果

【全体】

- ・事務処理の効率化、人的エラーの削減による人件費の削減

【被補助者】

- ・事務処理の効率化により、迅速な補助の受給

4 実施スケジュール（概要）

6月～8月 事務処理工程のブレイクダウンの実施
9月～10月 工程の整理及びシステムの自動化の実施
11月～3月 新しい工程の運用及び随時見直しの実施

5 実施結果の振り返り

6月 事務処理工程の洗い出しを実施。支払時の支払予定者データについて、財務システムのインポートを利用した運用データを作成することとする。
9月 財務システムへのインポートを運用開始
～3月 運用データを伝票処理だけでなく、決定通知書の印刷データとして活用することとした。

●事務処理工程の洗い出しを行う中で、補助対象者のデータを台帳・伝票・決定通知書等複数回入力していることが判明したため、業務の効率化を図ることとした。

支払予定者のデータをエクセルからインポートできるように見直しを行うだけでなく、運用を進める中で、更なる活用を図った。

データ入力を一括で行うことにより、重複した作業を削減させただけでなく、入力ミスによる手戻りを削減し、事務負担の軽減につながった。